



# いろは呑龍新聞

2020年(令和2年)10月号  
第58号

いろは呑龍トンネルに貯めた水を桂川へ放流するポンプ場を造っています。

ほうりゅうきょ

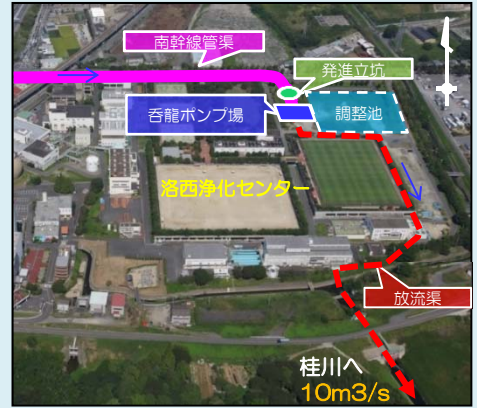
## 呑龍ポンプ場・放流渠工事

現在、洛西浄化センター場内にて、放流渠(ほうりゅうきょ)を整備する工事を行っています。

放流渠は、地下約20~30mにあるいろは呑龍トンネル(南幹線管渠)内を流れ、呑龍ポンプ場で地上までポンプアップした雨水を、桂川へ排水するための排水路です。

この工事では、地上まで押し上げた水の圧力を調整するための水槽と桂川への水路(延長約350m)を整備しており、水路は工場で製作したコンクリート製品のボックスカルバート(内径2.4m×2.4m、長さ2m)を設置する工事です。

洛西浄化センター場内図



## ボックスカルバートの施工

ボックスカルバートは内径2.4m×2.4mの大きさがあるため、掘削の深さは4~5m程度になります。

周囲に建物や河川があり、そのまま掘削ができない区間(矢板区間)は、鋼矢板で土留を行って掘削し、鋼矢板の間を特殊な運搬機械でボックスカルバートを運搬して設置します。

周囲に支障物がない区間(一般区間)では、掘削にICT施工を採用しており、バックホウの運転席にGPSモニターを設置して運転手に掘削範囲の情報を表示し、施工をアシストする掘削を行っています。



ボックスカルバート製作(工場検査)



ボックスカルバート搬入状況



矢板区間:ボックスカルバート運搬機



矢板区間:施工状況



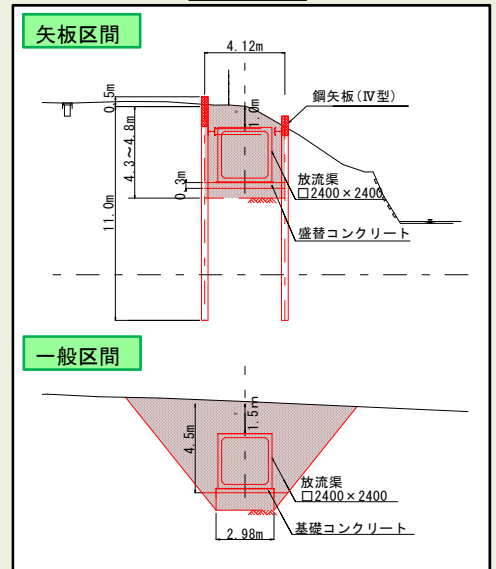
GPSにより現在の平面位置・掘削断面等の情報を表示

バックホウ運転席GPSモニター



一般区間:施工状況

横断面



見に来てね!



いろは呑龍新聞  
バックナンバーはこちらから  
<http://www.pref.kyoto.jp/ryuiki/donryu.html>